

氏名 井瀬 千恵子

〇 いきいき健康課よりお声ばかり。
げんきらー教室等とも共通点がありますので
お受けしました。

〇 高野町出身

現在、げんきらー教室、老人会等に参加して
おりまわりの会も高令月で、もう60年代
の方々の参加を呼びかけていきたいと思います。
折角の集まりですので、意見を発信し、
明るい会にして、ければよいと思
います。

氏名 乾 幸八

② 区長理事会の会長を務めていたことから、自治基本条例策定委員会、
第一期、第二期はぐくむ委員会と参画することになりました。

③ 今後市内の区・自治会でも自助のみでの介護や子育てに限界が生じ
る可能性があります。限界が訪れる前に地域の課題に着目し、地域ぐるみ
で解決を行うことが大切であると考えます。令和2年はコロナ禍により、思
うような活動を行うことができませんでしたが、橋本市に関わる皆で、はぐ
くむ条例を旗印に「住み慣れた地域で、子どもから高齢者まで、地域全体
で支えあいながら、安全・安心な生活をおくれるまち」を目指したいと思い
ます。

氏名 今田 実

橋本市の自治と協働をはぐくむ条例の前文には住みよい地域社会の醸
成のため、自分ごととして橋本市の未来をとらえ主体的に行動し続ける必
要があると記載されています。

社会教育を中心とした生涯学習推進の指針となる、橋本市生涯学習推
進計画では、自治と協働によるまちづくりの視点にたって、まちづくりの主
体者として育ちあうことができるような生涯学習の環境醸成が不可欠であ
る考え、基本理念を「人が育ちあう共育のまちづくり」としています。

まちづくりにおいても、教育においても、同じ理念のもと取り組み、より良
い橋本市をはぐくんでいきたいと考えています。

氏名 上田ひと美

はぐくむ条例ができて、何もかも行政にお任せ
というのではなく、市民も共にできることが増えた
と思います。よりすみやすい橋本市になるために
みんなが、たくさん話し合える委員会になって
ほしいです。

氏名 田村 亜美

自分たちの橋本市だから、みんなと一緒に、より良くしていきたい、育んでいきたい、という思いで、はぐくむ委員を受けました。前回のはぐくむ委員会で出会った委員の皆さん、政策企画課の皆さんも、素敵な方ばかりだったから、という理由もあります。

はぐくむ条例にもあるように「個性を認め合い」、委員の皆さんの小さな気持もちも大切に、楽しく活動していきたいです。はぐくむ委員の活動を目にした人が「次は私もはぐくむ委員になりたい!」と思えるように、そして私たちも「次のはぐくむ委員になろうよ!」と自信をもって周囲の人に声をかけられるように、輪を広げていきたいと思っています。

氏名 中谷 維夫

橋本市出身。公民館ではぐくむ委員会の市民委員の募集を知り、協働のまちづくりに参加したいと思いました。テーマとして、わが故郷は、今の時代の流れや急速な価値観の変化に追いつき、後手にまわっていないだろうか? もっといえば、官と民の差異は行政にあるのか? 旧態依然となっていないか? 今、はぐくむべき種は何か? 等々包み隠さず、忌憚のない意見をたくさん寄せ、はぐくむ種を見つけたと思います。

氏名 ^{としま ひろこ} 戸島 浩子

3歳で堺市から橋本市に引っ越してきました。言いたいのは橋本市のものばかりです。

はぐくむ条例がもっと市民に根付き、

胸をはって「安心して笑顔で生活できる市」だと言えるように。

子どもから高齢者まで地域で支え合いながら、世代に関係なく手を取り合い、まちづくりを身近な事だと感じられる、そして、楽しくまちづくりができると良いなと思います。

氏名 東 美樹

^{かんじょう}
千葉県出身です。43歳にになります。賢堂という町に住んでいます。3姉妹(12.9.6歳)の母としていろいろな仕事をしています!!

ステキな橋本市は、子供たちや子孫から借っている(預かっている)大仕事その。しっかり、お返しできよう。今から私にできる事をしていきたいと思っています。

前期、2年間に引き続き、また2年間。

元気でいますので 宜しくお願い致します。😊

氏名 平田 敬二

住民生活の変化、住民意識の希薄化、自治活動の停滞
などが見られる現状、住民自身によるまちづくりの参加・参画を
促すことが重要と考え、委員会でも委員の皆様により良い方向を追求
したいと思います。

そのため現状の正確な把握・分析と住民視点での方向づけ
、検証・見直しを行うようい掛け 議論に参加したい
とよくお願い申し上げます。

氏名 平家 利也

② 各種団体から 高野町商工会の代表として参加

③ みんなで話し合い、理解し合い、協力し
合ひ、これからも 愛され誇れる まちづくりの一助
となるような 条例にと思い頑張っ 参加したい
と思 います。

氏名 ほりうち ひでお ①

条例策定時から、市民公募も取り入れた委員会が本格化してきました。

条例施行後には、その内容を地域と現場で生かすために、進行管理と市
への提言を行う「はぐくむ委員会」がスタートしたのです。

第 2 期が出発します。めざすは、橋本市を「自治と協働で元気なまち」
にすることです。3つの合言葉⇒「①情報共有・②市民参画・③協働のま
ちづくり」で目標を実現します。

委員会は、異世代・男女共同・異分野など多様性を尊重した構成です。
委員会そのものが自治と協働のプラットフォームとなります。

氏名 ほりうち ひでお ②

委員のみなさんは、事前資料や自主学習の準備、会議では自由な全員
発言で議論に参画、会議外でも意欲的に調査・行動する楽しみを味わっ
てください。自治と協働のまちづくりは、自治と協働の市民づくり・職員づく
りに比例していきます。委員会の雰囲気は、だれ一人取り残さない、複眼
思考で多彩な視野を持つ、学び合い・語り合いの場になるよう、全員「あ
うん」の呼吸で協力して支えていきましょう。

コロナ後の世界は大きく変わります。第 2 期の委員会は、橋本市のすべ
での市民へ、具体的で目に見える「自治と協働の果実」を、贈り物としてお
届けしたいものです。

氏名

前田 陽一郎

はぐくむ委員を受けたい理由

私は、橋本市神野町で建設業を営んでいます。その関係で、橋本商工会議所へ所属しているのですが、委員は、商工会議所より参加しています。そのおかげで、橋本市自治基本条例策定委員会の頃から参加しています。少子高齢化により地域の活動の担い手が減少して

いく様子を憂うなかで、少しでも

この条例を知ってもらい、理解が深ければ、いろいろな問題の解決につながるのではないかと、思い参加しています。

出身：九度山町です。

氏名 森川 嘉久

橋本市の自治と協働をはぐくむ条例は将来のまちづくりの基本理念と基本原則を明らかにし、市民と行政の協働によるまちづくりの推進と、自立した地域社会を創出していくことを目的に平成 31 年から施行しています。はぐくむ委員会はこの条例の実効性の検証を目的として設置されたものですが、第一期委員は検証のみでなく、市内のイベントへの出展や広報はもとに協働の記事を掲載するなど、条例の周知を図っていただきました。第二期はぐくむ委員会においても、条例の検証はもとより、協働のまちづくりの旗印であるはぐくむ条例がより一層橋本市へ浸透するよう、ともに行動していきたいと考えていますのでご協力よろしくお願いいたします。

① 氏名 森田 知世子

② ひとりで多くの方に はぐくむ条例を知ってもらって一緒に「自分たちのまちづくり」を考えていきたいと思っています。

③ 行政と市民が 共通の目標達成に向けて、意見や想いを出しあい、信頼しあえる仲間になれたらいいと思っています。

グループ活動も話し合いしやすい場なので、これからそんな場があると嬉しいです。

よろしく お願い致します。

出身は、なんと 橋本市民です。